



**PTR HONDA**

**Hikaru okubo 大久保 光**

**World Supersport Championship**

**round - 1 Australia March .1**

**予選 15 番手 決勝リタイヤ**



スーパースポーツ世界選手権（WSS）に参戦する大久保光は、WSS、5年目のシーズンを迎えました。昨年まで所属していたブセッティ・カワサキから2017年まで在籍していた古巣のRTP・ホンダに移籍し戦います。昨年は予選4番手、決勝4位が最高位となり、表彰台に迫る走りを随所で見せ、トップライダーとして実力を評価される成長を見せています。

開幕前にポルトガルのポルティマオでのテストでは好感触を得ており、カワサキからホンダへの乗り換えの不安を感じることなく、注目選手として開幕戦に挑みました。

WSS第1戦はオーストラリアのフィリップアイランドで開催され予選15番手からスタートしますが、決勝では他車との接触でリタイヤとなってしまいました。開幕戦から波に乗れる結果を望んでいましたが、結果は残りませんでした。ですが、次戦に向けての課題がみつかりました。それをクリアすることで、本来の走りが出るという手応えを掴むことが出来た戦いでもありました。

#### 大久保光

「走り始めからリヤのグリップ感を得ることが出来ずに苦戦しタイムアップ出来ずにいました。ですが、アベレージは悪くなかったので、決勝で追いつけて行けるだろうと考えていましたが、レース序盤、3ラップ目に高速コーナーで他車との接触で壁に突っ込んでしまいリタイヤとなってしまいました。激しいアクシデントでしたが、ケガはありません。マシンを寄せられてしまい逃げ場がなく回避できませんでした。それでも、そのポジションにいた自分が悪いと思っています。リヤのグリップ感という課題をクリアできるように次戦には挑みたいと思います。リセットして、しっかりと上位に食い込むレースをします」

大久保は、開幕戦を終えて帰国予定でしたが、コロナウィルスの影響から、帰国した場合、出国が難しくなる可能性があるため、帰国を見送り、次戦のカタールに直接入ることになりました。

※次回は、3月15日開催の第2戦カタールの報告をさせていただきます。